

10/25 (日) 4:00PM ~ 工藤篤子賛美コンサート Vol.6

入場無料

秋も深まってまいりました。今年も木管楽器のような柔らかく深みのある、また地中海の明るさを思わせる工藤篤子さんの賛美をお楽しみください。



工藤篤子 (地中海ソプラノ)

札幌大谷短大声楽専攻科及び研究科終了後、マドリード国立声楽院に留学。1987年、スペイン・ヤマハコンクール第一位、ONCEコンクール二位。声質は地中海ソプラノで、オラトリオのソリストとして、またスペイン歌曲のスペシャリストとして、ヨーロッパ各地の国際フェスティバルに招かれる。2000年、「工藤篤子音楽ミニストリーズ」設立、2011年「工藤篤子ワークショップ・ミニストリーズ」に改称。カーネギー・ホール、マドリード音楽堂、ハンブルク音楽堂などでもリサイタルを行う。2011年4月より、ドイツ、日本で、被災地のためのチャリティーコンサート、2012年5月、被災地へ赴き、野田常喜、キャサリン・ポーターの各氏と慰問コンサートを行う。慰問コンサートを行う。ドイツ、ハンブルク市在住。CD「たましいの歌」「Come To Me」「鳥のうた」「神だけが」「讃美」「カンシオン」「ほんとうの願い」、著書「賛美のこころ」好評発売中。



野田常喜 (ピアノ)

京都府京都市出身。幼少より、教会で賛美歌やゴスペルを熱心に歌う両親の影響を受け、7歳の頃からバックでピアノを弾き始める。大阪音楽大学ピアノ科卒業。現在、クラシックやゴスペルの演奏活動を日本各地で行っている。作曲、編曲、アルバム制作にも力を入れている。オーケストラを思わせるピアノと、その場の臨場感に合わせ、共演者と対話するような演奏法は、多くの感動と共感を生んでいる。工藤篤子さんとは、日本、アメリカ、中国、台湾でのコンサート、CD録音で共演している。

12 / 24 (木) 7:00PM ~

ベアンテ・ボーマン
チェロコンサート

入場無料



神にあって生きる ①

現在、教会に来られている方たちにも、神様との出会いがありました。第1回目は、Hさんにその経緯を語っていただきます。

グローリーができる前は、「グッド・ニュース」という読み物や「いのちのパン」という教会で作成された新聞がありました。私はずっと近所の人に届け続けていただいていたのですが、見向きもしませんでした。その期間は、実に7年間でした。けれども、いろいろな問題が起こり、どうしてよいかわからなくなったとき、机の上に置いていた、ずっと以前にいただいていた「いのちのパン」に目が留り、読んでみました。その中に書かれていた聖書の言葉に心が引きつけられました。

「すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。」

この聖書の言葉に「私も休ませていただこう」と思いました。聖書の言葉に導かれるままに、初めて教会に行きました。そして、救っていただき、今、ここにいます。7年間という長い間、届け続けてくださったこと、神様の深い深いあわれみ、そして、多くの方々の祈りがあったこと、本当に感謝してもきれません。



Glory100号記念特別企画!! 愛読者プレゼントのお知らせ

もうすぐGloryは100号を迎えます。これを記念して、来年のオリジナルカレンダーを、日頃からGloryを愛読してくださっている皆様にプレゼントいたします。ふるってご応募ください。

応募方法

TEL:0797-73-6076

FAX:0797-73-6075

Eメール:info@takara-eikou.com

必ず、お名前、ご住所、
ご連絡先をお知らせください。



ケアプラン
デイサービス
オリーブの実

お気軽にお問い合わせ・ご相談ください。

「ケアプラン オリーブの実」

☎:0797-73-6055

「デイサービス オリーブの実」

☎:0797-73-6077

宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9

TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com

http://www.takara-eikou.com

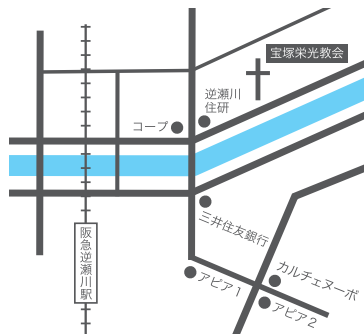
希望のダイヤル

毎週更新。24時間つながります。

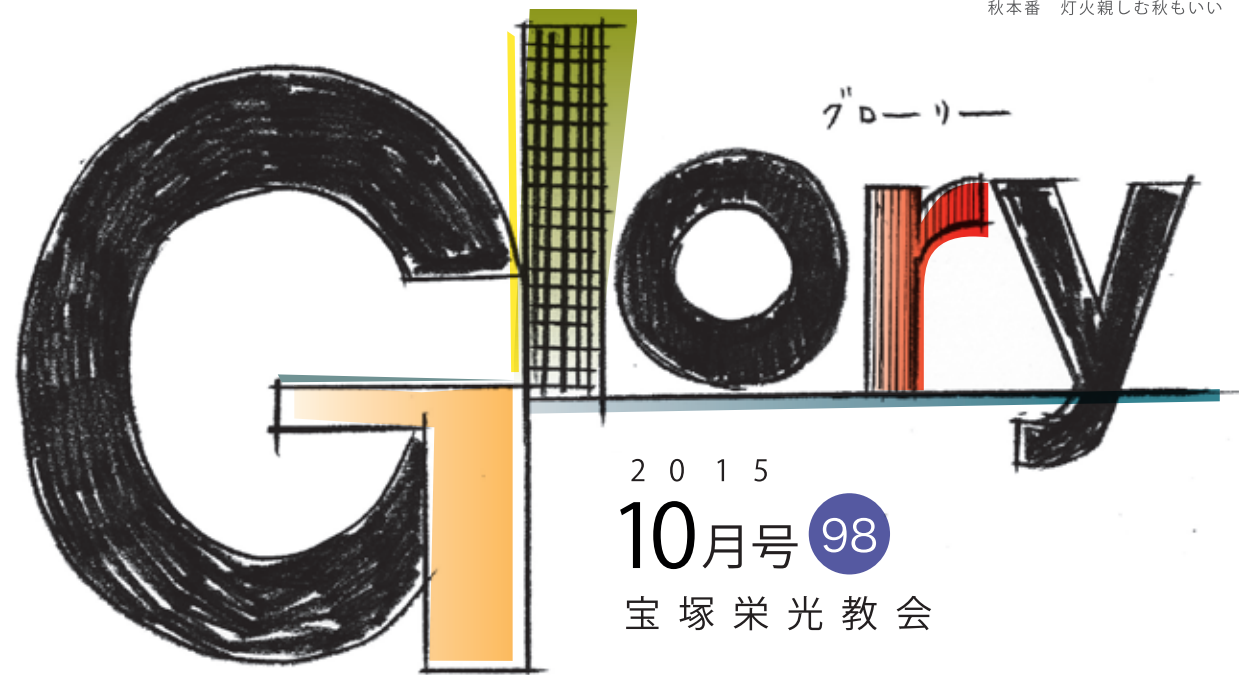
0797-77-3746

わたしたちは統一教会、ものみの塔（エホバの証人）、モルモン教ではなく正統的なキリスト教会です。もしお困りの方はご相談ください。

ポッドキャストでも配信中！
ホームページから
利用できます。



秋本番 灯火親しむ秋もいい



2015

10月号 98

宝塚栄光教会

永遠の愛

人は愛を求めます。しかし本当の愛は、私たちの周りには見当たりません。みな制限付きの愛、自己中心の愛です。どこに真の愛があるのでしょうか。神のもとにあります。

まず、神は私たちを愛しててくださいます。天地万物を創造された神は、私たちに崇（たた）りや呪（のろ）いを与えたり、バチを当てたりする神ではなく、私たちを愛してくださいます。神の無限さ、雄大さに比べ、私たちは小さな存在ですが、神は私たちを愛してくださっています。この神の愛には制限や条件はつきません。

私たちにはそれだけの愛を向けられる値打ちはありませんでした。神に逆らい、神を踏みにじる罪人だったのです。そんな私たちを、神はひとり子をくださるほど愛してくださいました。神の子キリストは、神の栄光を捨ててこの世に来られ、十字架にかかけられました。罪を犯して神から裁かれるべき私たちに代わって、裁かれるはずのない神の子が裁かれてくださったのです。捨てられるはずの私たちが捨てられないためです。こ

れほどの愛はほかにはありません。

では、神はなぜそこまで私たちを愛してくださるのでしょうか。私たちがこの世で勝利して歩むためです。何に対する勝利でしょうか。まず罪への勝利です。自分の罪を悔い改め、キリストの十字架を信じるなら、だれでも罪の赦しが与えられます。神は私たちの罪を、海の深みに投げ入れるようにして、徹底的に赦してくださいます。さらには、死への勝利です。人はみな死を恐れます。しかし、罪が赦された者は死を恐れません。天国の望みがあるからです。そして、困難への勝利です。この世では悩みがありますが、勝利の主イエスが先頭に進んでくださいます。そういう勝利の歩みをさせるために、神は限りなく私たちを愛してくださいます。

この神の限りない愛を受け取って、愛の中を歩いていきたいですね。真実な神は、こちらが真実に求めさえすれば、必ずそのようにしてくださいます。永遠の愛は私たちに注がれています。今、私たちに提供されているこの愛を受け取りましょう。



「オミナエシ」

秋の七草のひとつに 数えられ
古くから歌われて 親しまれてきた 山野草だ

秋の うっすらとした 夕暮れに
よく似合っている
長い茎を まっすぐにのばした先に
小さな花つぶを 集めたように 花が 咲いている

つつましげで 美しい姿だ

しなやかで 優しい印象から
美しい女性の姿と重ねて オミナエシ と呼んだのだろう

オミナエシの 黄色い色は 古くから 日本人に 好まれていた
よく見ると 花だけでなく つぼみも 茎も 黄色い
遠目には 幻想的な 風景に 見える

おみなえし色 と言う
平安の頃から 日本の色のひとつで
緑がかった黄色
十二単など 着物を重ねた時に 使われた色
襲(かさね)の色目 と言うそう

花言葉は 約束を守る 忍耐 親切
オミナエシは 暑さにも 寒さにも 強い花
芯の強い人を 思い浮かべないだろうか

真の強さから にじみ出る 美しさを感じる

だれが 主の山に登りえようか
だれが その聖なる所に立ちえようか
手がきよく 心がきよらかな者
そのたましいを むなしいことに向けず 欺き誓わなかった人
その人は 主から祝福を受け その救いの神から 義を受ける